



2015年9月30日付

基準価額の推移



ファンドのデータ

基準価額	12,205円
純資産総額	4,820百万円
受益者数(直販)	1,415人

ポートフォリオの構成比 (マザーファンド)

	当月末	前月末比
株式等	91.0%	▲8.9%
現金等	9.0%	+8.9%
構成銘柄	52社	+1社

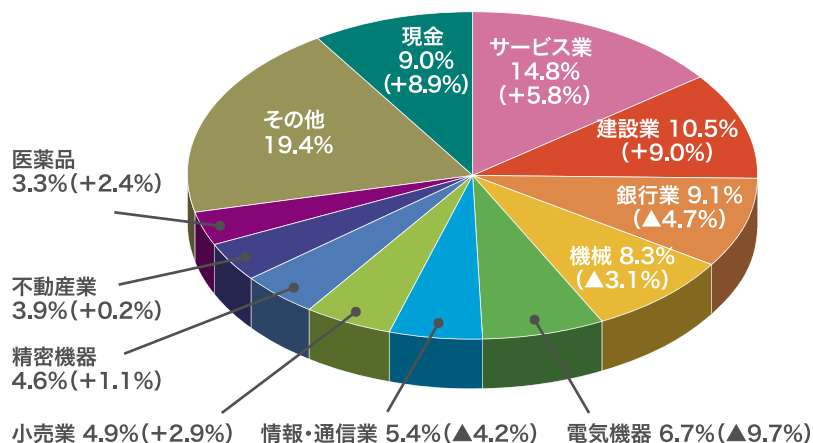
分配実績

第1期 (2014年12月18日)
0円

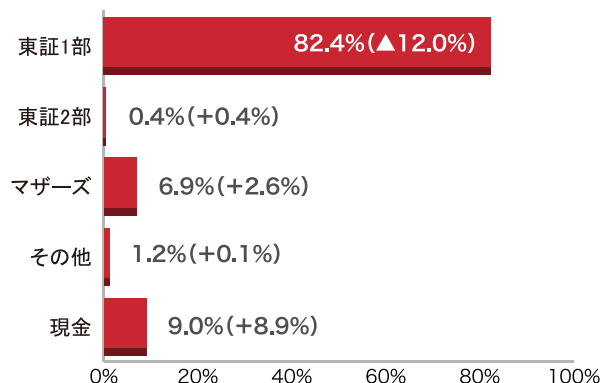
基準価額の騰落率

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	設定来
▲5.72%	▲13.07%	▲5.25%	6.09%	22.05%

業種別構成比 ()内は前月比



市場別構成比 ()内は前月比



● 比率は純資産総額を100%として計算しております。 ● 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
● 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

Ⅱ 市場概況

9月の株式市場は、中国の景気減速懸念や原油などの商品市況の悪化、そしてFOMC(米連邦公開市場委員会)での利上げ見送りに伴う米金融政策の先行き不透明感などを背景に、調整色の強い展開となりました。TOPIXの月間リターンは8.19%の下落、日経平均は7.95%の下落となりました。

詳細は以下の通りです。1日は8月の中国PMI製造業指数が悪化したことを受け、中国景気に対する減速懸念の台頭により日経平均の下げ幅は724円(▲3.84%)となりました。その後も原油安を背景に関連銘柄が売られたことや、ECB(欧州中央銀行)ドラギ総裁が量的金融緩和の延長を示唆するコメントをしたことからユーロ安円高となったこと、8日発表の日本4-6月期GDP統計で在庫増加や設備投資が低調だったことなどの悪材料により、8日まで下落基調となりました。9日は欧米株や上海株の大幅反転を好感、日経平均は歴代6位となる上昇幅1343円(+7.71%)となりました。しかし、その後は16~17日に開催されるFOMCを前に様子見ムードとなるなど17日までは持ち合いの展開となりました。18日は注目されていたFOMCでの利上げがなかったものの、FRB(米連邦準備制度理事会)イエレン議長が中国景気に言及した点などが嫌気され急落しました。さらに25日(金)夜に開かれた米中首脳会談で経済に対する相互理解が進まなかったことや、28日に中国政府が発表した中国の工業部門の利益が8月最大の減益率となったこと、スイス資源大手商社に対する債務懸念などから株価は大幅急落し、29日には日経平均が月間最安値16901円(ザラ場)を付けました。月末は見直し買いなどにより、日経平均は17000円台(17388円)を回復しました。

主な株式指数を下落率の小さい順に見ると、JASDAQ指数(▲4.45%)、日経JASDAQ平均(▲4.88%)、東証2部(▲5.59%)、東証マザーズ指数(▲6.13%)、日経平均株価(▲7.95%)、TOPIX(▲8.19%)となりました。TOPIX規模別では、スモール(▲5.75%)、ミッド400(▲6.75%)、ラージ70(▲9.05%)、コア30(▲9.48%)となりました。TOPIX業種別株価指数のリターン上位3位は、ゴム製品(▲0.63%)、小売業(▲1.76%)、水産・農林業(▲3.78%)でした。同下位3位は、鉄鋼(▲14.21%)、保険業(▲12.97%)、鉱業(▲12.92%)でした。

Ⅱ 運用状況

◎9月の主な投資行動

16~17日に開催されるFOMCでの利上げ判断に伴う株価下落リスクを回避するため、株式市場が大幅急騰した9日以降16日にかけて株式組入比率(以下、同比率)を90%以下に引き下げました。業種構成も外需(機械、電気機器、自動車など)を引き下げ、内需(建設、サービスなど)を引き上げました。FOMCでの利上げ見送りに伴う不透明感から株式市場は下落したため、同比率を再度95%超まで引き上げました。その後、25日(金)夜の米中首脳会談において世界経済に対する相互理解が進まなかったことにより、中国経済の悪化が世界(特に東南アジア諸国などの新興国)へも波及することを懸念し、28日(月)寄付近辺(日経平均17800円台)で同比率を81%にまで引き下げ、業種構成も外需から内需へと一段と移行しました。株価大幅下落となった29日には、日経平均17000円割れ近辺で内需銘柄を中心に買い進め、同比率を90%近くまで引き上げました。

◎9月のファンド月間リターンとその要因

9月末の基準価額は12205円(8月末12946円)、ファンドの月間リターンは5.72%の下落となりました。当ファンドにベンチマークはありませんが、ご参考としてTOPIXは8.19%の下落となっており、当ファンドは2.47%のアウトパフォームとなりました。主な要因として、当ファンドでTOPIX対比オーバーウェイトにしていたサービス業(当月末保有比率14.8%)や建設業(同10.5%)の業種別指数が、TOPIXを上回る月間リターン(サービス業▲5.29%、建設業▲4.98%)になったことなどが挙げられます。

◎9月末のポートフォリオ

株式等組入比率は91.0%(前月末比▲8.9%)に引き下げており、逆にキャッシュ比率は9.0%(同+8.9%)に引き上げています。市場別構成比率では、東証1部82.4%(同▲12.0%)、東証マザーズ6.9%(同+2.6%)などとなっています。業種別では、1位がサービス業14.8%(同+5.8%)、次いで建設業10.5%(同+9.0%)、銀行9.1%(同▲4.7%)となりました。組入銘柄数は52銘柄(同+1)となっています。

● 組入比率とその内訳、組入銘柄に関する記載は、マザーファンドについてとなります

2015年10月6日 運用部長 糸島 孝俊

組入上位5銘柄の紹介

(2015年8月31日現在)

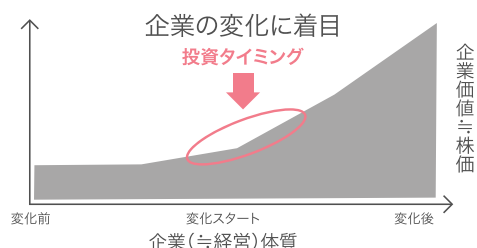
銘柄名		概要
業種	組入比率	
トヨタ自動車		新車販売台数で世界トップ(2014年)。約4割を日本で生産。1937年の設立以来、企業理念である「豊田綱領」を受け継ぐ。トヨタ生産方式は、「自動化」(問題を顕在化・見える化)と「ジャスト・イン・タイム」(生産性を向上)の2つの考え方を柱とする。
輸送用機器	6.0%	
三菱重工業		世界中の社会的課題をものづくりで解決することが使命。「エネルギー・環境」、「防衛・宇宙」、「交通・輸送」、「機械・設備システム」の4つのドメインを持つ。事業規模の拡大、資本効率および純利益水準の向上を目指す。
機械	5.0%	
三井住友フィナンシャルグループ		3メガバンクの一角で、銀行業務を中心に、クレジットカード業務、リース業務、情報サービス業務、証券業務などのさまざまな金融サービスにかかわる事業を展開。経営方針は、最高の信頼を得られ世界に通じる金融グループを目指す。
銀行業	5.0%	
ファナック		1972年に富士通からNC(数値制御)部門が独立して設立。主力製品は、工作機械用のFA装置(コンピュータ数値制御装置およびサーボモータ)、産業用ロボット、スマホの加工に使う工作機械。主力工場ではロボットを活用した無人化生産に特徴。高シェア高収益企業。
電気機器	4.9%	
野村ホールディングス		日本最大の投資銀行・持株会社。国内ではコンサルティング中心の営業スタイルでストック収入を重視、海外ビジネスでは「グローバルにお客のニーズを繋ぐ」をモットーに、ホールセールを強化し、アジアに立脚したグローバル金融サービスグループを目指す。
証券、商品先物取引業	4.5%	

- 組入上位5銘柄については、開示基準日がその他の情報と異なります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。
- 比率は純資産総額を100%として計算しております。

運用方針

変化しはじめた企業、変化にチャレンジする企業を中心に中長期の視点で厳選し、ダイナミックな運用を行います。

定性評価



- ・5-10年の中長期的な視点で企業変化に着目
- ・「マネジメントが変化した企業」や「時代の変化に対応する企業」

日本株のみに厳選投資

50銘柄

厳選

- ・投資対象は大型から小型株
- ・企業取材など直接的なボトムアップ・アプローチに基づく調査を実施
- ・相場見通しや個々の株価水準に合わせて、より株価上昇の角度が高い約50銘柄を厳選
- ・50銘柄で分散効果は十分可能

定量評価

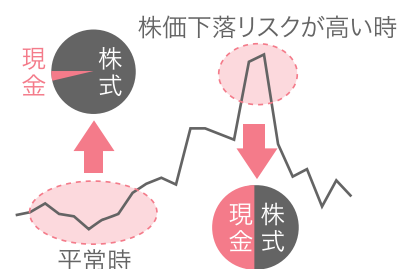
株価に対する割安感

- ・PER、PBR、配当利回りなど株価に対する指標(バリエーション)

収益力の変化と持続性

- ・ROE、利益成長率、利益率など株価上昇による割安感が解消した場合や、さらに割安な銘柄を発掘した場合などには投資期間に関わらず売却

株価下落リスク回避のためのダイナミックな運用



株価下落リスクの回避を目指し、株式組入比率をダイナミックにコントロール

メディア掲載

日付	掲載メディア	ニュース
9月7日	日経電子版	「株、値幅500円強の乱高下 政策出動催促する「グッチロー相場」続く」で糸島がコメントしました
9月14日	日経新聞	5面「郵政3社 逆風下の船出「収益力向上策を注目」」で糸島がコメントしました
9月21日	日経マネー	直販投信の魅力研究の中でコモンズ投信をご紹介いただきました
9月24日	BSジャパン	「モーニングプラス」に糸島が出演しました
9月20日	日経電子版	マネーブログカリスマの直言で渋澤が「郵政3社上場、波乱の予感」と題し渋澤が寄稿しました
9月30日	日経新聞	23面M&I CHECK&CLIP「親子向けセミナー相次ぐ」で弊社の「パパママ向けセミナー」を紹介いただきました

セミナー案内

セミナー名	日付	時間	場所
【水戸開催】<CYBERDYNE の CFO も登壇!>凄腕 ファンドマネージャーが見通す 2020vision セミナー	10月8日(木)	18:30~21:00	茨城県水戸市(茨城県開発公社ビル)
「ザ・2020 ビジョン」ファンド説明&運用報告会	10月9日(金)	19:00~20:45	東京都千代田区(船井セミナールーム)
	10月14日(水)	19:00~20:45	東京都千代田区(船井セミナールーム)
	10月15日(木)	19:00~20:45	石川県金沢市(石川県女性センター)
	10月16日(金)	19:00~20:45	京都府京都市(メルパルク京都)
	10月17日(土)	10:00~11:45	愛知県名古屋 (オフィスパーク名駅カンファレンスセンター)
30 才からの “はじめてのコモンズ” (お子様連れ可)	10月29日(木)	13:30~15:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	11月17日(火)		
30 才からの “はじめてのコモンズ”	10月7日(水)	19:00~21:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	11月25日(水)		
60 才からの “はじめてのコモンズ”	10月23日(金)	13:30~15:30	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	11月27日(金)		
パパとママのためのこどもトラストセミナー (お子様連れ可)	10月21日(水)	13:30~15:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	11月10日(火)		
	11月27日(金)	19:00~20:30	
「コモンズ 30 ファンド」「ザ・2020 ビジョン」 ファンド説明会	10月10日(土)	14:00~16:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	11月7日(土)		
	11月11日(水)		
くつろぎ BAR	10月21日(水)	18:00~20:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	11月18日(水)		
こどもトラストセミナー おかねの勉強シリーズ『かきくけコモンズ』<け>	10月18日(日)	10:00~11:30	東京都世田谷区 (ウイズダムアカデミー田園調布自由が丘校)
寄付月間公認イベント ソーシャルアクション教室	12月5日(土)	10:00~14:00	文京学院大学 ※10月下旬募集開始

※セミナーの詳細、お申し込みは弊社ウェブサイトまたはコールセンターにお願いいたします。

<http://www.common30.jp/seminar/> 03-3221-8730 (コールセンター、平日午前9時~午後5時受付)

ザ・2020ビジョンの費用について

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逡減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 ・ 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。

※上記の手数料(費用)等の合計額については、保有期間に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

ザ・2020ビジョンのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お申込みメモ

信託設定日	2013年12月27日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
決算日	原則として毎年12月18日(休業日のときは、翌営業日を決算日とします。)
収益分配	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価格	購入申込受付日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額とします。
換金代金の 支払い開始日	換金申込受付日から起算して5営業日目にお支払いします。
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。

お問い合わせ先	■コールセンター (受付時間/平日 午前9時～午後5時) 03-3221-8730	■ウェブサイト http://www.common30.jp/
	◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。 ◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。	

金融商品取引業者
関東財務局長(金商)第2061号
加入協会 一般社団法人投資信託協会

コモンズ投信株式会社
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階